



カリフォルニアの風

サンフランシスコ日本語補習校 平成 29 年秋季号

授業再開に喜ぶ子どもたち

夏休み明けの8月26日(土)、中高部サンフランシスコ校、中高部サンノゼ校の両校が授業を再開しました。小学部は授業日数との関わりで1週遅れの9月2日(土)となりましたが、小学部、中学部とも久しぶりの友達との再会を喜ぶ子どもたちの姿が見られました。



友だちと会えなかった2か月のギャップを埋めるのには一瞬の会話で十分だったようです。

9月2日のサンノゼ地区は、記録的な暑さのため、幼小SJ校では不調を訴えた児童が3名いました。そのうち2名が早退し心配されましたが、帰宅後、回復したようであり、まずは一安心といったところです。

ちなみに、9月3日付、地元紙サンフランシスコ・クロニクルによると、当地は、当日(9月2日)、106°Fを記録し、2003年の103°F以来の暑さだったそうであります。

小さな学者たちの夏休み作品展



幼小部においては、授業再開当日、恒例の夏休み作品展が開かれ多くの作品が会場一杯に展示されました。「子どもは時代の鏡」といわれますが、作品の中には「日食の研究」「ロボット作成」「環境問題」などのレポートや研究が見られ、時代を反映した作品に未来の学者の片鱗を感じさせました。作品は、学級単位で見学をしましたが、子どもたちは、友達の作品を一つ一つ丁寧に見て回り自分の作品とは異なる発想に感心したりメモを取ったりしていました。

>>>>引き取り訓練無事終了<<<<

9月2日(土)に4校(幼小部、中高部)一斉に引き取り訓練が実施されましたが、保護者の皆様のご協力のお蔭で各校とも無事終了することができました。ご協力有り難うございました。各校とも課題は、引き取り訓練の際の駐車をどうすればいいか、ということではありますが、現在打開策を模索中であります。